

アハカ人の軽業師

く　ら　も　と　勝　已　え



はに握り、グリーンを狙った。
着るゝ気のある由郎は、三人の先輩と
三三に余るギャラリイをせよと、クリク
リと聲のこえる目を動かす——
「さあ、ここでのせよせ」
ギャラリイのサービスのつもりで闊首
弁でジョークをたはしてからアドレスに
入る。
が、つぎの瞬間、由郎の身体に熱い血
が逆流した。
驚き出したのである。かすりもしな
かった。ボールの一尺も手前をドスンと叩
いただけで、クラブは鳴しく空を切った
のである。
二十三才美少年サンとトイチの顔が、
大きくクロソウアツされた。
たし、あまりにライではなかつ
た。芝に沈んでいたが、空振りするほど
ではなかつた。たとえ、それが土の本が
にまっていたとしても、プロであるからに
は違ふべきである。それだ。

しつぱ、この破廉恥な娯振りが、その後の由郎のゴルフを大きく変えたのである。

それまでの由郎のグラフィアは、左手をかせぎ、右手をひらいたフック・グラフィアであった。このグラフィアからは、ボールを打たぬむしショットはできない。スウィングがフラットになるからはらう打ち方しかできないのだ。

キウビジヨンが終つて、大坂會場の朝日会館でバーティが行われたが、その時つて由郎は名手戸田藤一郎にレッスンを受けた。

「グラフィアをまず、なおさなあい、あかん。あんな振りをしてたんじや、さつきのよるなライから、ボールをコントロールして打つことはできないやうだ。もつと右手をかせぎなあい」

フックも、スライスも、自由自在に振るトイチの、この言葉は、由郎の胸に重く深く染つていった。

振 空 9

宝塚エール倶楽部の15番ホールは49
5ヤードのロング・ホーリである。ティ
から250ヤードまでは平坦なフェア
ウェイがつづき、そ
の先はだんだん上
りになってグリーン
につづいている。
林は次のショウ
トをその平坦なフ
ェアウェイのと真ん
中、250ヤードは
飛ばしにだ。
「ヨシ、ふつと、
2つでのぞきまへ」
バーナードの中村
寅吉亦是なかつた。
林もその気になつ
た。「ズーンとひ
つぱは、おるだ
ら」
ホールは少し上

“徹底に、たたきな
おさなければ——”
由郎は、空振りとい
う思わぬ失敗から
大きなヒントを得て
東京へ帰ってきた。

「コルノの母」

林由郎は、村一番の貧乏百姓の二男として、大正11年1月に生れた。二つ上の熱病にかかり、脳膜炎から、尋常小学校六年生計をたすける意味か、デイにならざるを得な

小学校に在学中の昭和5年に、同じ村に我孫子ゴルフ倶楽部が誕生したのであ

林 由 郎 プロの巻

沈んでゐた。が、そろゝ氣になるくらいでは
 なかった。
 この日、昭和元年のある晴れた秋の日
 のことである。
 関東の代表として中村實言、林田郎の
 組に、關西を代表する、戸田藤一郎の組
 でエキストラ・マッチが行われてい
 だ。
 宮本、戸田にこそは、戦前の日本エッ
 プを指導した手である。戦終、間もな
 いとそのころ、彼の指導は十分に日
 本を代表するに相応しい卓越したもので
 あつた。
 實言にとり、由らちきんにして、彼
 らのまへには、まだまだ田舎侍にし
 かつらなかつた。
 フランチェ・スコットとベンチ・シヨウ
 トはなまぬキナリを堪能させるに
 十分な数であつた、それにくらべれば
 関東組の二人はなんとも得不足に見せ
 る奴に足あらず。
 「いぢやう、のせとせれ」
 そういふ實言の言葉のうらには、ロ
 ング・ホールをなぐらせて喧嘩を捲
 けようといふ思慕があつたのである。
 由郎も、むしろ、大得意をきりたとい
 うのである。
 グリーンまで、約するのサード。その
 上して、イン・ア・トウ組はイン・アールで
 ある。イン・ア・トウ組は一本づつをあ
 かしとせらる。由郎はイン・アールをい

る。貧乏百姓のをれと云ふとは、結
ひつりようにも磨らへずのやに格差
があつて、由郎少年もまだ遠くから白球
を眺めているよりよすはなだ。

ところが、ある日、小学校の上級生に
日曜日だけのキチンしたアルバイトの店
が先生の口をとおして伝えられた。

ところがその店にいきなり来た云ふ
が、急に由郎少年の身にかかるとき
た。すくにはその店になつた。

畑仕事の手伝ひをしてゐる、たまに
OBのボーイがころころと来て、少年た
ちはあそびつてそれにとひつた。時に
は畑仕事を放りだしてボーイ増しに夢中
になることもあった。由郎少年は、その
ボーイ親しの友人、といふ三、四歳の
白球をなもとに入れていた。

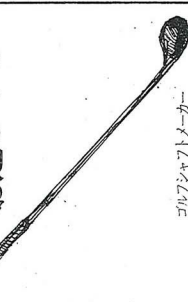
そして、木のまはをまわつて、アートの
ように削つて、それに産の網をくくりつ
け、即興のクラウンをつくり、三、四歳の

ト
フ
ヤ
シ
の
根
白
根

ハ
一
イ
ロ
ニ

お選び下さい
S.S.S.

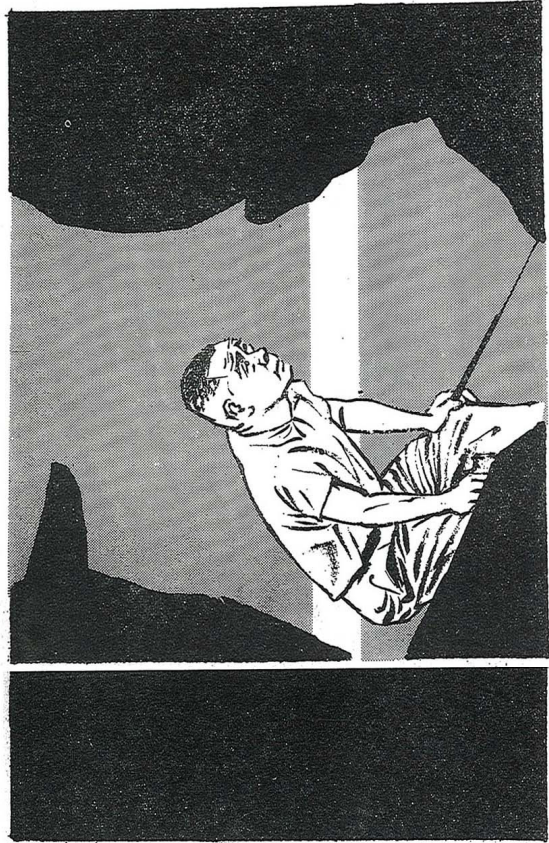
お選び下さい



根精煉制作話

白根糕機制作所

ボールを打つては拾い、拾っては打つて
ゴルフをおぼえた。
キャディをやれば、あの緑の芝の上で
こつこつボールを打つとどこまでもか
しれない。胸をはずませて日曜キャディ
になったのである。



をあげて放してクラブを振り回すことが
要三ではできなかった。
客の目をぬすみ、支配人の目をすめ
て「第8番、9番の3ホールを」まよ
こちよこちうランドした。
ゴルフが、好きで好きで仕舞になつ
たのである。好きだから、胸もあきま
す。17才の7月10日に、我孫子国東
プロの月例研修会が行われた。当時ト
プロの陳清水、浅見隆廣、安田幸

思えば、村にゴルフ場ができたことは
林田郎にとって、この上ない幸運だった
のである。
こうして、小宮政六年を卒業すると、
正式に我孫子のキャディになった。
どんなクラブの練習場に入ったボールで

も得意とく博
し山キャディ
として、由
郎少年は、メ
ンバーから参
重された。
手裏剣クラ
ブを振り回す
ことも多くな
った。客の来
ない朝早く
に、夕暮れ
に、逆のホ
ールでこつこ
つボールを打
つ。秋のキャ
・トにも出場
でもなにな
なになった。
先輩の山本
増次郎、同輩
の桑谷ととい
つは優勝を
争った。キャ
ディを三年や
つて、15才の
時に、事務所
食料に、食が
でもその手
伝いをさせら
れた。金庫

ハイヤー営業所ご案内

銀座	(561)	1003
新橋	(573)	4321
西本町	(573)	0831
本町	(583)	6131
日八重	(241)	6740
八重	(271)	3621
浜町	(851)	8171
大町	(201)	7007
小松	(582)	3753
日北	(501)	3526
赤坂	(583)	5097
ポオ	(261)	8491
五反田	(443)	8811
谷	(463)	4334
宿	(342)	1931
新吉	(0422)	44-3370

和 大和自動車交通株式会社
東京都中央区銀座1丁目5番地 TEL (561) 7161 (代表)

玄関から……ゴルフ場へ
大和のハイヤーを御利用下さい。

いぼ 痔 は 血管の病気です

24錠 内服痔疾患治療薬 サカネン

日本新薬株式会社

サカネン

黒い錠剤

のむだけで痔がしぼむ

痔の原因は、肛門の血管にできたコブです。痔は血管の病気で、皮の病気でありません。ですから塗り薬とちがって腸から吸収された成分が血管を通過して直接作用しコブをしぼませるのみ薬が効果的です。

- ・痔で一番つらい痛みがおさまる、出血、しかし早くひきます。
- ・はれかみ、錠剤を〈のみむだけ〉で治療法も極く簡単です。

日本新薬

1日3回2錠ずつ錠剤をのみむだけで手軽
痔の原因に直接作用するため効きめが早い
便通が楽になるよう3種の緩下剤も配合

くわしい資料は 京都市南区 日本新薬G.O.係

きた昭和24年の春の日、ゴルフ場の脇の
島にくわを打ち下し、敏でうねをつくっ
ていると、山本増次郎が自転車に乗ん
で来た。

「ヨシ！ また、ゴルフをやろうじゃな
いか。寅も、浅見さんも、安田さんも、
源さんもみんなが力を合せて関東プロ協
会を再結成しようといっている。おまえ
も、一敗加わってくれ！」

夢か、由郎の目はうるんだ。むろん、
二つ返事で協力を約した。

「賞金など出せないだろうから、わしが
餅をついて賞品がわりにもっていきます
わ」

こうして、霧散していたゴルフの虫は
一堂に会したのである。

戦後、第一回の関東プロは東京ゴルフ
倶楽部で行われた。

由郎は、ここで優勝したのである。
(スコアと相手は不明)

そして、そのご褒美に、前記のような
関西遠征のはなしがでたのである。

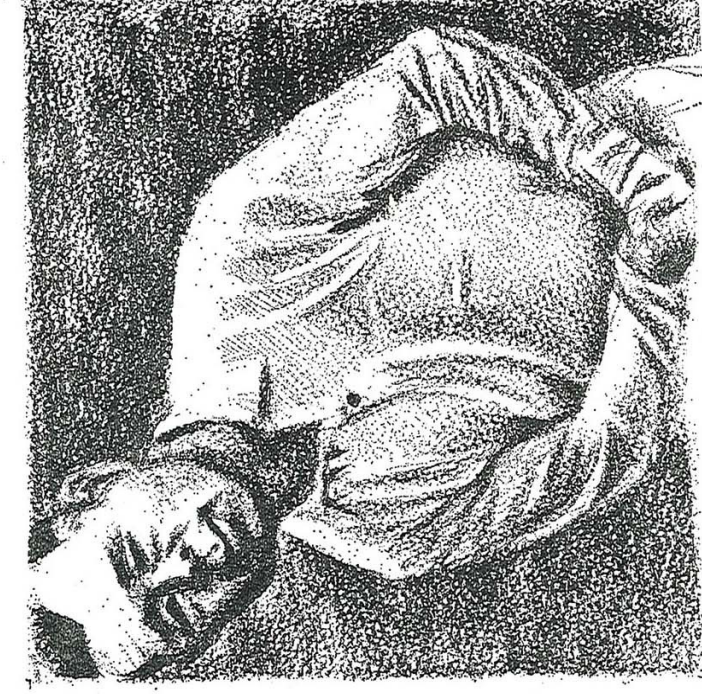
軽業師への特訓

さて我孫子に帰った由郎の猛練習がは
じまった。

スライス、フック、ストレート、高い
球、低い球、自由自在にボールを操るた
めの研究と練習が朝夕となく繰り返され
た。

戸田にいわれたように、まず、グリス
プをかえた。

かえたグリップが自分のものになるま



で、連日、ボールを打ちまくった。

あそこで空振りしたのは、スウィング
がフラットすぎたからだ。スウィングを
かえなければならない。もっと、アッ
プライトに振る練習を積まなければならない
い。

由郎は大きな松の木を背に、素振りを
何回、何十回と繰り返した。

フラットにクラブを振り上げれば、ク
ラブは松の木にあたる。松に邪魔されな

いように振るためには、どうしてもアッ
プライトに握らなければならない。

松を背に負っての素振りだけの練習が
また連日つづいた。

そして、スウィングの勘がつかめる
と、こんどはそのスウィングを自分のも
のにするために、ボールを打つ練習が積
まれた。

いわゆるダウンヒル・ライからのショ
ットを繰り返したのである。

左足が低く、右足が高いところにある
から、横振りのスウィングをすると、テ
ーク・バックでも、ダウン・スウィング
でも傾斜面にクラブ・ヘッドがつかえて
しまう。

傾斜面に邪魔されないようにスウィン
グするためには、やはりアップライトに
振らなければならない。それでいて、な
お、インサイドからボールを叩くために
は両脚をしつかりとしておく必要があ
るのだ。

ダウンヒルからのショットの練習が、
また連日つづいた。

こうして、由郎は自分のスウィングを
徹底的に基礎からたたきなおしたのであ
る。

なにが幸いするかわからないものだ。
あの空振りがなければ、戸田のアドバイ
スもなかったろうし、林自身も自からス
ウィングの改良を試みはしなかったであ
らう。

日本プロ三回、日本オープン二回、関
東プロ、関東オープンそれぞれ二回ずつ
の優勝も、したがって訪れなかったかも
しれない。

夏の日ざかり、パンツ一枚で夕暮れの
誰もいなくなった我孫子コースで研サン
をつんだ林由郎、思えばあの空振りが彼
に奮起の心意気をふりいたなさせたので
ある。

昭和25年、戦後第一回の日本オープン
と日本プロは同じ我孫子ゴルフ倶楽部で
行われたが、由郎はこの二つともを手中
にしたのである。(つづく)